

# 交流人口増で景気を

## 登地 靖徳 議員

### 答 定住・観光客誘致を推進



**登地** 元気で活力ある江田島市をつくる必要があります。

イベント等を盛んにして、交流人口を増やしたくさんの都市住民を呼び込んで、交通アクセスを刺激し宿泊産業・一次産業を動かし、加工産業第二次産業や三次産業を興して、魅力ある成長都市江田島市形成が可能と考えられるが。

**市長** 少子高齢化が一段と進み、定住人口が減少するなか、交流人口を増やすことよって地域の活力を高めていく考えは私も賛成です。

今後は、定住促進・観光客誘致に向けて、第一次産業・観光資源・交通等を組み合わせた「観光ルート」的な事業について、その実現の可能性や商品化についても研究してまいります。

**好評なかきカキマラソン**

**登地** 地元活性化のため

にも地域イベントの優等生のかきカキマラソンは継続すべきと思いますが、どのような考えでおられるかお伺いします。

**市長** 地域の観光資源も活用し、物産PR・販売及び健康づくりを中心とした市民や都市との交流の場として再編していくよう、現在調整中です。

**定額給付金について**

**登地** 定額給付金（4億5,000万円）の給付がいよいよ始まった。本市の取り組みはどうか、お聞きします。

**市長** 3月23日に申請書を発送し、申請書の受付を開始することとしており、4月中旬に1回目の振り込みをすることとしております。



▲ かきカキマラソン（沖美町）



# 三高中学校の存続を

## 堅道 隆司 議員

### 答 検討委員会で審議中

**堅道** 三高小と三高中は隣接校であり、小中一貫教育のモデル校として存続はできないか。

**教育長** 現在、学校統合検討委員会で審議中です。

**堅道** 一貫教育のメリット、デメリットは。

**教育長** メリットは、年齢幅の広い交流を通して豊かな人間性や社会性を育成できること。デメリットは、小中の教員制度の問題、行事や授業の調整に時間を要し、子どもと向き合う時間が少なくなる状況が起こること等です。

これらのことは、小中一貫校がまだ法制化されておらず、特区認定や

研究開発校として取り組まれているためです。

**堅道** 個性豊かな学校づくりの具体策は。

**教育長** 学校長が考えた地域や学校の特徴を生かした、多様で個性的な学校経営プランをもとに支援をしています。

**学校統合検討委員会について**

**堅道** 統廃合に直接関係の深い地元保護者が少ないのでは。

**教育長** 委員は、全市的な視野に立ち、総合的に検討するということから、保護者代表・小中学校長・自治会長・教育委員

・行政関係・学識経験者で構成されています。

**堅道** 4回程度の委員会で答申を出そうとするのは、結論を急ぎすぎではないか。

**教育長** 審議回数については、第1回の検討委員会で検討の目安として合意を得たもので、審議の経過によっては、回数は増えることも考えられます。



▲ 部活に励む三高中学の生徒たち

# 農業・漁業の振興は

## 石下 洋子 議員

### 答 農林水産計画に基づく

**石下** 市の活性化は農業の振興を図ることです。本年度の農業振興費は、サイトピアハウスの設置補助金・イノシシ被害対策が新しく盛り込まれています。農道・水路の整備に充てられています。今すべきことは、担い手の育成、所得保障、産品の販路拡大、営農資金の援助などを含む総合的な農業振興計画を策定し、思い切った施策を実施すべきではないかと思う。

で、その機能を十分生かせる農業を展開していきます。来年度には、市農業振興計画を提示します。

**学校統合問題について**

**石下** 学校を地域からなくすことは、地域にとって大問題です。地域の住民に統合について教育委員会の考えを説明し、住民の意見を聞き、それを考えに入れて検討すべきと思いますが、どのように考えておられるか。

**市長** 現在、県の農林水産計画に基づく本市の地域プロジェクトにおいて、園芸産地江田島の構築を研究協議しています。沖美の水路整備、大柿の農道整備も完了するの

に答申することになっていきます。合併後、この4月で9校が閉校となりますが、どの学校へも答申の後、



▲ 建設中のサイトピアハウス（沖美町）

地域住民に説明にまいりました。今後同様に対応してまいります。

に答申することになっていきます。